

# 14. 医局関連行事

## 医生ヶ丘循環器・腎臓病診連携の会

園 田 信 成  
宮 本 哲

### 第36回 医生ヶ丘循環器・腎臓病診連携の会（平成30年6月15日）

[症例発表]

1. 「二期的に人工血管置換術を行った胸部大動脈瘤の症例」

産業医科大学病院 心臓血管外科 講師 安恒 亨 先生

[教育講演]

「糖尿病性腎臓病の診断と管理 ～糖尿病早期治療の重要性～」

産業医科大学病院 腎センター 講師 宮本 哲 先生

[特別講演]

「AS 治療は TAVI がすべてか？」

九州大学 心臓血管外科 教授 塩瀬 明 先生



### 第37回 医生ヶ丘循環器・腎臓病診連携の会（平成30年9月14日）

[症例発表]

「トルバプタンを投与した多発性膿胞腎の一例」

産業医科大学 第2内科学 石井 望務 先生

[教育講演]

「多発性膿胞腎の診断と管理」

産産業医科大学病院 腎センター 講師 宮本 哲 先生



[特別講演]

「BNP：ガイドラインから最近の話題まで」

東京慈恵会医科大学 内科学講座 循環器内科 主任教授 吉村 道博 先生



**第38回 医生ヶ丘循環器・腎臓病診連携の会（平成31年2月1日）**

第38回医生ヶ丘循環器会が平成31年2月1日にホテルクラウンレス北九州で開催されました。まず鍋嶋洋裕先生が症例発表を行いました。教育講演は九州大学循環器内科の大谷規彰先生に急性心筋炎の救命診療について貴重なお話を頂きました。

特別講演では琉球大学病院血液浄化部の古波蔵健太郎先生に糖尿病合併CKD患者の加療について、新しいDKDの概念を含め幅広くわかりやすい御講演を頂きました。

(文責：宮本 哲)

[症例発表]

「生検で診断し治療に至った心アミロイドーシスの2症例」

産業医科大学 第2内科学 鍋嶋 洋裕 先生



[教育講演]

「急性心筋炎の救命診療」

九州大学大学院医学研究院 循環器内科学 循環器病病態治療講座  
講師 大谷 規彰 先生



[特別講演]

「糖尿病合併CKD患者の個別化降圧療法」

琉球大学医学部附属病院 血液浄化療法部  
准教授・部長 古波蔵 健太郎 先生



## 若松循環器・腎臓病カンファレンス

長谷川 恵 美

### 第12回 若松循環器・腎臓病カンファレンス（平成30年5月10日）

若松区内の先生方と若松病院循環器内科・腎臓内科医師との学術交流、ならびに循環器、腎臓領域に関する知識を共有することを目的として発足された若松循環器・腎臓カンファレンスは今回で12回目を迎え、平成30年5月10日に旧古河鉱業若松ビルにて開催されました。

症例報告として若松病院の岡部宏樹先生に「ARB開始後の腎機能悪化で発見された腎動脈狭窄症の1例」についてご報告頂きました。

また、若松病院の中俣潤一先生に「慢性腎臓病における合併症管理 ～脂質・血圧・尿酸など～」と題してご講演を頂きました。

産業医科大学からは荻ノ沢泰司先生にお越し頂き、「クリニックで役立つ不整脈の知識と最近の話題」についてご講演頂きました。

今回の参加者は22名でした。2019年度のカンファレンスは2019年6月7日に開催を予定しております。当カンファレンスを通じて地域の諸先生方との連携がこれまで以上に円滑に行えるようになれば幸いです。

#### 【紹介症例等の報告】

「ARB開始後の腎機能悪化で発見された腎動脈狭窄症の1例」

産業医科大学若松病院 循環器内科・腎臓内科 岡部 宏樹 先生



#### 【講演Ⅰ】

「慢性腎臓病における合併症管理 ～脂質・血圧・尿酸など～」

産業医科大学若松病院 循環器内科・腎臓内科 中俣 潤一 先生



#### 【講演Ⅱ】

「クリニックで役に立つ不整脈の知識と最近の話題」

産業医科大学 第2内科学 学内講師 荻ノ沢 泰司 先生



## 大学院講義

講義年月日：平成30年6月21日

講 師：群馬県立心臓血管センター 副院長・心臓リハビリテーション部長  
安達 仁 先生

演 題 名：CPX の臨床応用

昨今心臓リハビリテーションは循環器内科医にとっては必須の治療手段となり、心臓リハビリテーションの中でも運動療法は中心の位置を占める治療法であります。心肺運動負荷試験（Cardiopulmonary exercise test；CPX）は運動処方のために必要な検査法であるだけではなく、心疾患や肺疾患患者さんの病態生理を理解するのに役立ち、治療方針決定のための強力なツールとされています。しかし多くの循環器医にとって、CPXはATや最大酸素摂取量を知ることを以上の理解まではたどり着いていないのが実情です。第2内科の医師にとっても同様であり、このため心臓リハビリテーション、CPX分野の第一人者である群馬県立循環器病センター副院長・心臓リハビリテーション部長の安達仁先生に「CPXの臨床応用」というテーマで臨床に役立つような講義をお願いしました。虚血、心不全の運動負荷は心拍数110bpmが目安で、ここから虚血や拡張障害が現れやすい。重症MRの手術適応についてCPXの活用、肺高血圧とCPXパラメーターの関係など、心疾患の病態生理の理解を深める講義内容でした。リサーチへのヒントももりばめられて、大学院生にとっても有意義な時間でした。熊本で毎年開催される安達先生のCPXセミナーは200人がすぐに埋まってしまう人気講師であり、今回も医師、看護師、理学療法士、検査技師と多様な参加者で視聴覚室は満員でした。講義後の会食でも、ふんわりとしたお人柄でありながら、鋭い意見を伺うことができ、これも有意義かつ楽しい時間を過ごすことができました。（文責：荒木 優）



講義年月日：平成30年7月20日

講 師：川崎医科大学 循環器内科学 教授 上村 史朗 先生

演 題 名：光干渉断層法：冠動脈病変評価と治療への応用

上村史朗先生は、奈良県立医科大学の御卒業で、奈良県立医科大学での勤務を経て、スタンフォード大学で心臓画像診断に関する研究に従事されました。その後、再び奈良県立医科大学で臨床及び研究に従事され、2015年より川崎医科大学循環器内科教授に着任されました。冠動脈インターベンションを専門とされており、今回のご講演テーマでもある、光干渉断層法（OCT）などの冠動脈画像診断法において、OCT 導入初期からご活躍されています。今回「光干渉断層法：冠動脈病変評価と治療への応用」というタイトルで大学院講義を賜りました。OCT を用いた冠動脈プラーク組織などの性状評価や治療における戦略を発症の機序など、責任病変・非責任病変の観点を交えながら非常にわかりやすくご講演頂きました。また、実臨床における OCT ガイド PCI の方法、特に方向性冠動脈粥腫切除術（DCA）について、OCT を用いた冠動脈のオリエンテーションや適応病変、評価方法、実際に DCA で採取された病理組織などを踏まえながらご講演頂き、大変知識が深まりました。

ご講演の後の親睦会においても、海外留学についてなど貴重なお話を熱く語って頂き、大変有意義な時間を過ごすことができました。 (文責：三浦 俊哉)

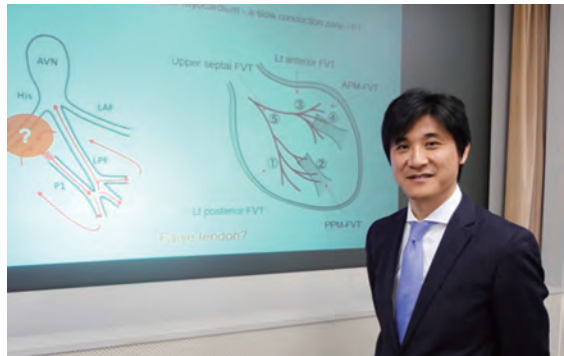


講義年月日：平成30年9月21日

講 師：大垣市民病院 循環器内科 部長 森島 逸郎 先生

演 題 名：ベラパミル感受性脚枝心室頻拍のカテーテルアブレーション

岐阜県の大垣市民病院より循環器内科部長・森島逸郎先生をお招きして、平成30年9月に「ベラパミル感受性脚枝心室頻拍のカテーテルアブレーション」についてのご講話を頂きました。ベラパミル感受性脚枝心室頻拍は器質的心疾患の合併を認めない特発性の左室起源心室頻拍であり、脚枝やその分岐が関与することから比較的 narrow な QRS 波形の心電図所見を有するリエントリー性頻拍という特徴を有します。カテーテルアブレーションにより 90%以上の方を根治することができるため、治療に対する深い理解が必要となります。森島逸郎先生はこの分野における第一人者であり、ベラパミル感受性脚枝心室頻拍の歴史的背景から分類、カテーテル治療までご自身の経験も踏まえてお話し頂きました。併せて大学院講義であることを踏まえて下さり、大垣市民病院で行われている臨床研究（甲状腺と心房細動の関連）についても今回ご拝聴させて頂きました。実際に研究を進めていく上での難しい点やどういった発想から臨床研究に至ったかを話して下さい、また、ざっくばらんに質問をさせて頂く機会もあり大変勉強になりました。



大学院講義の後には白浜で森島先生の慰労会を行いました。その際には岐阜で遠い山の奥に行かなければ食べることができない名店のお話や（代わりに北九州の美味しいオススメのお店として資さんうどんを勧めました。はじめて私が北九州に来た時に、ゴボ天うどんを食べて小さな感動を覚えたので）、普段されている英語の勉強法、アメリカ留学時のお話をなどで盛り上がり、大変楽しい時間を遅くまでお付き合い頂きました。

この場をお借りして森島先生に厚く御礼申し上げると併せて、今後の臨床、研究に活用させて頂きたいと思いを。  
(文責：塚原 慧太)



講義年月日：平成30年10月26日

講 師：徳島大学 循環器内科分野 医長 楠瀬 賢也 先生

演 題 名：若手が考える心エコー図研究の向かう先

大学院生を含め若手医師のモチベーションが高まり、近い年代の先生をとの声があり、徳島大学から若手心エコー図の中でも大変ご活躍中の楠瀬賢也先生をお招きし、ご講演いただきました。2004年に筑波大学御卒業の楠瀬先生は、クリーブランドクリニックでの留学からご帰国後も JACC、Circulation、Circulation Imaging、JACC Imaging、JAMA Cardiology などの一流雑誌を含め年間3～4編以上の論文を執筆され、国内外の学会でも大変ご活躍されています。肺高血圧や運動負荷の研究が有名ですが、今回の大学院講義では留学時や徳島大学での研究、若手心エコー図の会の多施設共同研究の経緯、今後向う先として最後は AI 診断に関して、熱くご講義いただきました。研究に対する熱意、バイタリティが終始溢れ、出会いやチャンスを大切にされながら、心エコー図研究の未来を見つめられている姿には、若手一同感銘を受け大変励みとなりました。（文責：岩瀧 麻衣）



講義年月日：平成30年11月15日

講 師：九州大学大学院医学研究院病態機能内科学

講師 中野 敏昭 先生

演 題 名：CKD 患者の動脈硬化症

九州大学腎・高血圧・血管内科の中野敏昭先生をお招きし、大学院講義を行って頂きました。CKD が心血管病のリスクであることが注目されて暫くたちます。中野先生には今回、慢性腎不全と動脈硬化の関連についてわかりやすく解説頂きました。尿毒症性物質のひとつであるインドキシル硫酸が動脈硬化をもたらす機序について詳細な検討をなされており、興味深い内容でした。アメリカ留学中の体験もお話頂き、これから留学を考えている若手の先生方には大変刺激になったと思います。

(文責：宮本 哲)





講義年月日：平成30年11月16日

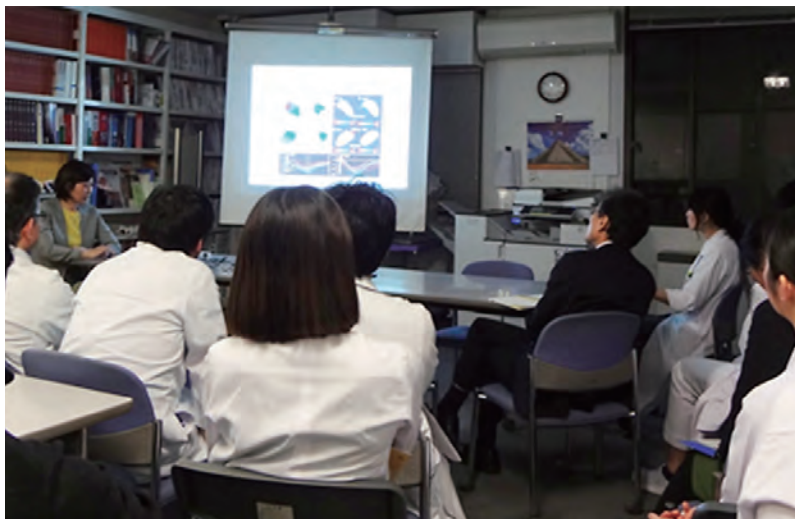
講 師：筑波大学 循環器内科学 講師 石津 智子 先生

演 題 名：右心系エコー評価の最先端

筑波大学の石津智子先生に、右心系エコーのご講義をお願いしました。石津智子先生は、1993年に筑波大学卒業後、筑波大学病院で勤務され、2018年4月から筑波大学臨床検査医学 病院教授へ就任されております。動物を用いた不整脈の心エコー図研究や右心系に関する研究、成人先天性心疾患や心疾患合併妊娠に関して国内学会でもご活躍されており、私の大好きな女性医師の一人です。大学院講義では、重症の右心負荷症例は40年で肝硬変へ進行し、3%が癌へ進行するといった話しから始まり、衝撃を受けました。近年注目されている右心系の研究を最先端で行われており、右室心筋の解剖、刺激伝導系や右室収縮に寄与するものや右室機能と左室機能を対比しながら非常に解り易く講義していただきました。大学院講義翌日には、偶然にも当科へ右室梗塞症例が緊急入院となったため、大学院生と共に心エコー図検査をしながら実臨床へ直結した講義の余韻に浸りました。



(文責：岩瀧 麻衣)



## 第2内科セミナー

講義年月日：平成30年11月26日

講師：九州大学大学院 循環器病病態学 講師 大谷 規彰 先生

演題名：重症心筋炎

九州大学の<sup>おおたに きしゅう</sup>大谷規彰先生に2018年11月26日（月）に第2内科学セミナー発表をしてもらいました。「重症心筋炎」というタイトルです。九州大学循環器内科は基礎実験中心というイメージですが、臨床も盛んに行い、そのレベルも非常に高度であるということが良く解る講義でした。大谷先生には以前癌に伴う心不全（典型はダウノマイシン心筋症）の講義をしていただきました。近年の医学の進歩により癌サバイバーが増えて、副作用として心不全が増えている、対応は早めのβ遮断薬とARBであるという内容でした。とても大事な内容の講演でしたが、これが終了したときに「尾辻先生、心筋炎のお話にも興味を持っていただけると幸いです。現在、九大では急性心筋炎の診療に力を注いで、そして救命にとっても貢献しています。」とっていただきました。産業医大では循環補助が必要な急性心筋炎は年間1～2例ですが、多くは若くて救命できればその後の人生に大きく寄与できる大変重要な病気です。2内科でどのようなことができるのかを知りたいと思い、講義をしていただきました。内容に圧倒されました。九州一円から重症心筋炎を時にはヘリコプターで集めて、様々な循環補助を駆使して救命に尽力していました。循環器救急医療で有名なあの宮崎市郡医師会病院からもヘリコプターで搬入されるそうです。そして急性疾患ですので、かなりの割合で完治します。一過性ですが超重症心機能低下の時期をいかに生存してもらうかが肝心のところ。九州大学では通常の循環補助に加えて、インペラと呼ばれる2重の管構造となっているカテーテル（先端から血液を吸引し、先端から10 cm ぐらい手前に排出、ポンプで左室から吸引し上行大動脈に排出）を使ってのとても強力な循環補助ができます。心拍出量5 l / 分も可能だそうです。また、いざとなれば外科がLVADや心臓移植もすることができます。急性心筋炎の診療に理想の環境です。2内科としては「軽症例は2内科で、重症は九大へ送る」ということで良いのですが、問題はどこで（血圧が90切ったら搬送？）判断するか？です。大谷先生もその判断は難しいようで、「とにかく重症かもしれない心筋炎がいらっしやったらご連絡下さい」ということでした。基礎実験のイメージが強かった九州大学です。今でも基礎実験で良い研究をしているのですが、超高度臨床も積極的に手掛けています。こういった他にない超高度臨床から研究が出てきて、さらなる進化をとげるのだらうと思います。大谷先生、迷ったときはご連絡いたします。よろしくお願ひ申し上げます。

（文責：尾辻 豊）



講義年月日：平成30年11月30日

講 師：神戸大学大学院 循環器内科学分野 講師 田中 秀和 先生

演 題 名：大動脈弁閉鎖不全症の心エコー図所見と手術適応の update

神戸大学の田中秀和先生に2018年11月30日（金）に第2内科学セミナー発表をしてもらいました。「大動脈弁閉鎖不全症の心エコー図所見と手術適応の update」というタイトルです。神戸大学は宝田明先生（同姓同名です、現：製鉄記念広畑病院@姫路）や川合宏哉先生（現：兵庫県立姫路循環器病センター）という人材を輩出した心エコー中心施設の一つです。定年で辞められましたが、大北裕心臓外科教授が大動脈や大動脈弁形成術等の優れた手術をたくさんされ、そのために大動脈弁疾患症例がたくさん集まりました。皆様ご存知の大動脈弁輪拡張症（バルサルバ洞や上行大動脈拡大により大動脈弁閉鎖不全症が出現）に対して、Bentall手術（大動脈弁・バルサルバ洞・上行大動脈を弁付き人工血管で置換し、冠動脈を縫い付ける）という標準手術ではなく、自己の大動脈弁やバルサルバ洞は温存して、拡大した上行大動脈は切除、人工血管で上行大動脈部は置換し、バルサルバ洞部は外側から補強する。いわゆる大動脈・大動脈弁形成術 David 法を積極的にされました。冠動脈バイパスは必要ありません。大北先生の場合は長期成績も良く、人工弁を使わずに済みますので患者さんからも人気の高い手術です。また先天性二尖弁による大動脈弁閉鎖不全症も自己弁を形成して、人工弁を使わずに手術をするという名人芸を見せる外科医です。このために診断を担当する内科医も大変です。弁膜症の構造的異常を2次元・3次元画像から詳細に検討し、その特徴を捉え、外科的成形術が可能か？弁置換術しかないのか？という難問に説得力のある予測が求められます。大北教授はご自分にも他者にも大変厳しいと伺っています。この大北教授からの難問に答える担当をしたのが川合宏哉先生や最近では田中秀和先生です。手術室で「この大動脈弁はどうなっとんのか？どこをどう直せば良いのか？早く言わんかい！」というような環境の中で、大動脈弁を心エコーで見る眼が研ぎ澄まされた先生です。私も心エコーに関してはそれなりの専門ですが、大動脈弁閉鎖不全症に関しては、弁逆流の機序特定や形成の予測はできません。大動脈弁閉鎖不全の機序は多様で、弁尖先端に小さな穴が開いていたり、弁尖サイズが短かったり、弁輪（弁付着部）構造も3つの弁尖で非対称になっていたり、複雑です。田中秀和先生は、実例のエコー画像を提示して、手術所見を提示して、そして大北先生の反応まで提示して、私たちに解りやすく、そして楽しく大動脈弁の見方を教えていただきました。産業医科大学での大動脈弁疾患診療に活かせると思います。田中秀和先生はエネルギーに溢れる先生で、研究でもエコーを使った論文を次々に発表しています。大学院生も複数名指導し、海外学会での発表や論文作成を活発に行っています。日本の心エコー図を支えて行く次期リーダーです。益々の発展を願っています。素晴らしい講義ありがとうございました。（文責：尾辻 豊）



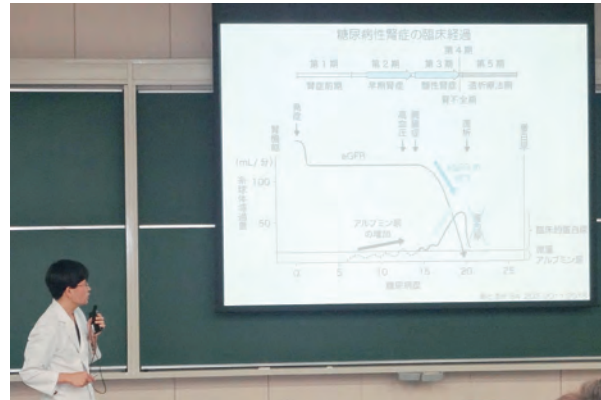
# 内科合同クリニカルカンファレンス

第479回 内科合同クリニカルカンファレンス

平成30年10月16日

テーマ：「糖尿病性腎臓病」

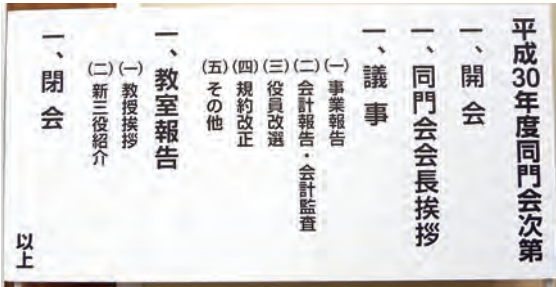
産業医科大学病院 循環器内科、腎臓内科 菅 亮太 先生  
産業医科大学病院 腎センター 宮本 哲 先生



# 医局関連行事写真集

\*\*\*\*\* 平成30年7月 第2内科同門会 \*\*\*\*\*

## 平成30年度 産業医科大学 第2内科学同門会 総会・懇親会



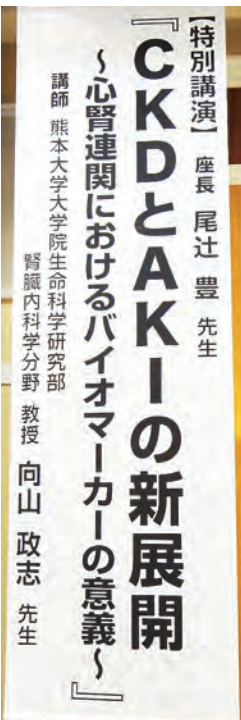
新入教室員紹介



研修医紹介



第25回 黒岩賞



特別講演 熊本大学大学院生命科学研究部 腎臓内科学分野 教授 向山 政志 先生



同門会懇親会

\*\*\*\*\* 平成30年12月 第2内科忘年会 田村雅仁先生送別会 \*\*\*\*\*

心腎連関忘年会  
田村先生送別会  
17:00 教授ご挨拶  
院長ご挨拶  
乾杯  
～歓談～  
20:00 余興大会  
20:40 田村先生ご挨拶  
21:00 閉会



ビンゴ大会の景品  
・ルシバの掃除器  
・デズニペアジャケット  
・バカラ ロックグラス  
・サボン キフトピット  
・千疋屋 マスクマロン  
・アレクサ  
・ダイソンドライヤー  
・マッサージシート  
おとぎの杜 回数教券  
年末 浜崎室くじ切当  
インストラクターグッズ



心臓血管外科 業務報告



循環器内科、腎臓内科 業務報告



田村雅仁先生 送別会

